

港区立青南小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の読解に課題が見られる。事柄の順序を捉え、大事な情報を落とさずに読み取っていく力、要点をや話の中心を捉えながら読む力が弱い。 ・題材を決め、自分の思いや考えを明確にしなが具体的に文章を書く力に課題が見られる。 ・話題に沿った質問を考えたりする力が弱い。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を正しく読み取り、内容や考察を文章表現でまとめることに課題が見られる。 ・「ごみのしよりと利用」の問題では、スプレー缶やペットボトルの出し方を理解していない児童が15%程度いた。ごみの分別についての理解に課題が見られる。 ・「日本の国土と人々の暮らし」の北方領土について理解しているかを問う問題では、目標値は上回っているものの、20パーセント以上が無回答であり、北方領土について理解できていない児童が多い。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻や時間、長さ、面積、体積、重さなど、身近にあるものを推察して、適切な数値や単位を考える力が弱い。 ・高学年になるにつれ、桁数が増え、少数や分数を含む四則混合の計算になるためミスが多い。 ・図形をいろいろな条件で、描くことが苦手である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を通して学んだことが知識として十分に定着していないことが考えられる ・栽培や飼育など育自然とのかかわりから身に付ける内容について経験が不足している。 ・実験器具の各部の名称を覚え、正しい手順を踏んだ使い方が定着していない。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序を追いながら読んだり、内容の中心を捉えたりしながら段落相互の関係を考え読む力。 ・思ったことや考えたことを助詞を正しく使って文章に書き表したり、目的や意図に応じて内容を明確にしなが表現の効果を考えたりして書く力。 ・言葉に触れ、活用する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順序を表す言葉に着目し、問いと答え、説明などをはっきりさせなが読み取る学習計画を立てていく。 ・内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読する。 ・目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり、要約したりする。 ・量は少なくとも、思ったこと、考えたことを書く活動を多く取り入れる。良い例を提示し、そこから学べるようにする。 ・例文から、どのようなまとまりで書かれているのか、表現の効果は何かを全体で考え、読み手に与える印象の違いを理解できような指導計画を工夫する。 ・言葉遊びを取り入れたり、読書マラソンの計画的な活用を行ったりする。読書環境を充実させる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことから人々の工夫や努力について考え、文章でまとめる力。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に調査・見学した際の気付きや発見を学級で共有する中で、人々の工夫や努力を考えるよう指導する。 ・資料から分かることや、そこから考えられることをペアやグループで話し合うことで、多角的に物事を考える力を養う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本を正しく理解し、日常の事象を数理的に処理する力。 ・見通しをもち、筋道を立てて考え、考えたことを分かりやすく表したり、発表したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着をはかるために、東京ベーシックドリルや多様な問題を繰り返し解く時間を確保したり、宿題を出したりする。さらに、個々の学力に応じた指導を行うために習熟度別指導を実施し、考える力やまとめる力や発表する力や学び合う力などを育てる。 ・児童一人一人が課題を把握し、自ら問題解決をする場を設け、自分の考えを論理的に表すように指導し、主体的・対話的に学ぶ力を育てる。

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・事象から問題を見出したり、解決したりする力。 ・適切な言葉を選んで考えを伝える力 ・実験技能を身に付け、自ら進んで調べようとする力。 ・学びを生かして豊かな暮らしや生き方を考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を求めて既習や生活経験を見直したり、考察により考えを広げる機会を増やしたりする。 ・結果をもとに結論を整理して表現することにより、用語も含めた知識理解の定着につなげる。 ・可能な限り一人一実験を実施し、器具の名称を押さえたうえで、同じ実験を繰り返し行い正しい機器の使い方の習熟を図る。 ・学習内容を生活科及び学年間、中学校との内容の系統性及び日常生活での活用や科学技術との関連に広げる指導を行う。

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で興味をもち、挑戦する力。 ・気付いたことを伝える力。 ・気付いたことを生活の中で生かす力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経験ができるように前年度の反省を生かした指導計画を立てる。 ・気付いたことを表現する方法を指導し、友達に伝える場面を増やす。 ・気付いたことを日々の生活の中で、生かしていけるように家庭と連携を取る。

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい音楽表現をするために必要な技能 ・音楽表現を工夫したり、味わって聴いたりする力 ・音楽を愛好する心情、感性 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽構造の働きを理解し、表現に生かすことができるように指導計画を立てる。 ・どのような表現するのか思いや音をもたせ、曲の特徴にふさわしい表現を試したり考えたりする活動を取り入れる。 ・協働して音楽に親しむ場面の設定や、様々な音楽に親しむ場面を設定する。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを表現するために適切な材料や道具を扱える力。 ・学んだことを生活の中で活用したり、応用したりする力。 ・身近にある作品などの形態から、表現の意図や特徴、良さや美しさなどを感じ取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせた材料や道具を適宜用意し、扱い方などについて視覚的に手本や見本を示しながら指導する。 ・各自の目標を設定させ、見通しをもって主体的に活動できる姿勢を育てる工夫をする。また、多くの造形活動の機会を設ける。 ・様々な作品に触れる機会を設定したり、自分の作品や他の人の作品を鑑賞して交流したりする時間を取り入れる。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から課題を見つけ、様々な解決方法を考え、進んで実践する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習では、一人一人が実技をしっかりと行えるように、形態（一人実習）、道具の用意などを行う。 ・学習したことを自分の生活と関連付けを行い、家庭での実践を促す。保護者会での説明を行ったり、実践を共有したりする。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを楽しみ、自らの運動課題を見付け解決する力。 ・友達と協力し、よさを認め合い、考えを伝え合う力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動との出合わせ方を工夫し、十分に運動の特性を味わえる学習活動を計画する。場や環境を整え、学習カード等を活用することで自己の課題を見付け解決する方法の思考を促す。 ・領域に応じたチームやグループを設定し、学び合いながら学習が進められるようにする。動きのポイントや見る視点を与え、促す発問・言葉掛けを工夫する。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語による実践的コミュニケーション力の基礎を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌や文字に親しみながら活動することで英語に興味をもつ工夫をする。 ・ペア活動、グループ活動を取り入れることで自然に話す場面を作る。 ・担任と NT が連携して授業作りを行い、クラスの実態に合わせた声かけ、場面設定をする。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・善悪を判断する態度を養う。 ・相手の立場を尊重し、助け合う心を育成する。 ・人間としてもつべき規範意識を身につける。 ・自他の生命を尊重する心を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業だけでなく全教育活動を通して指導に当たる。 ・自分や友達の考えを大切にし、考えを広げたり、深めたりできる授業展開を進める。伝え合う場面を設定する。 ・自分だったらどうするか多面的・多角的な見方ができる発問にする。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係を形成し、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうと、個人として集団として自主的に実践する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えたことを実践、発表する場を設け、それに対する振り返りを行い、次につながるようにする。 ・学級や学校における生活上の諸問題を話し合いによって解決する。 ・合意形成を大切に、話し合いにおいては、他の意見を尊重し認め合うことで皆が主体的に話し合いに参加できる雰囲気をつくる。 ・計画→実践→振り返り→改善の活動の流れを徹底して行う。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決や探求活動に主体的、創造的、協働的に取り組む力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を自分事としてとらえられるように、課題設定を丁寧に行う。 ・グループ活動、個人活動をバランスよく取り入れ、友達の作品や発表から学ぶ機会をもつ。

